

校長室の窓から

No.15

平成27年 3月 2日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小 谷 豪 郎

清水宏保・元オリンピック選手の講演会

先日、尼崎市体育協会の指導者研修会として、オリンピックのスピードスケートで、日本人初の金メダリストになった、清水宏保元選手の講演会に行ってきました。場所は、ベイコム総合体育館の地下研修室でありました。

尼崎の体育協会に加盟している、様々な種目団体の指導者や選手が集まり研修室は満員でした。学校の仕事を終えてから、バイクで急いでいき何とか間に合いました。清水選手は幼い頃から喘息という持病があり、医者からは運動はしてはいけないと止められていたそうです。しかし、お父さんがコーチをして筋肉を鍛えるのと同じで、肺も鍛えれば強くなるということで3歳からスケートを始めたそうです。

更には、兄弟で一番背が低く今でも162cmしかありません。小・中学生の頃指導していたコーチからは、『お前は喘息もあるうえに、身長が小さすぎるから強くはならないので無理な練習はしなくても良いよ』といわれていたそうです。しかし、本人は中学生の頃から将来は世界を転戦する一流スケーターになる夢を常に追いつけ、友達ともそんな話ばかりしていたので、周りの友達からも変人扱いされていたそうです。

しかし、高校時代の監督が体は、背は小さいがパワーがありスピードのある選手が居るので一度見て欲しいと全日本に推薦してくれたそうです。そこから人生が開け世界と戦うチャンスができ、さらに成長できたそうです。喘息と体格が小さいというハンディを反骨心に変え、人一倍の努力と他人の何倍もの苦しいトレーニングを続けて行けたそうです。



実際に長野オリンピックで金メダルを取ったときには、190cmの双子の選手と勝負して金メダルを獲得しました。表彰台で一番高いところに居るはずですが、両サイドの双子の選手のほうが背が高いという、不思議な写真が翌日の新聞に載っていたことを思い出しました。当日は、ソルトレイクシティオリンピックの銀メダルを持ってこられて参加者全員に手に取れるように回してくれました。

自分には病気があるから、背が低いから、などといって『言い訳』を言って何事にも初めから勝負を捨ててしまっていることはないですか。今回の清水選手のお話を聞いてみると、何かに理由を付けて逃げないこと、自分に自信を持つこと、人に指導してもらう・教えてもらうのを待つのではなく、自分でトレーニングの方法を考え取り組んで行くこと、あきらめずに飽きずに継続して行く力など、このようなことがスポーツをする上では勿論、人生に於いても大切なことなんだと気づかされました。

清水選手は、引退後医療系の大学で学ばれ、地元北海道で自身の治療院を開院し、スポーツ選手のセカンドキャリアとしての活動も積極的に取り組んでいらっしゃいます。

また、4月からは再度大学院に進み、医療とスポーツについてさらに学ばれる予定だそうです。人生常に学び有り、私も何か新しいことに挑戦しようかな？ と少し心が動いた、そんな時間でした。



市内特別支援学級：卒業生を送る会

市内の特別支援学級に在籍する3年生の送る会が、教育総合センターの視聴覚室で開催されました。在校生と共に学校単独や地区で何校か協働で楽しい出し物に挑戦しました。

ハンドベルで演奏を披露した学校、紙芝居をする学校、朗読劇をする学校、琴を演奏する学校、ダンスを披露する学校などそれぞれに工夫されて素晴らしい演技でした。



本校の生徒達は、常陽中・武庫中と合同で今年最も流行した「アナと雪の女王」をミュージカル風に演じていました。そしてメインは、主題歌をサウンドトラック盤を聴いて練習したというように、英語で歌いきるとともに見事なダンスも披露してくれて素晴らしいミュージカルに仕上がっていました。

いよいよ 人生の分かれ道！

私立高校の発表、公立高校の推薦・特色選抜・多部制の発表、阪神特別支援分教室の発表と、次々に発表があり、3年生にとっての新しい道がどんどん広がってきています。

【現在までの結果】

私立高等学校：専願合格者	42名
併願合格者	159名
公立推薦：合格者	21名
公立特色選抜：合格者	5名
多部制Ⅰ期：合格者	7名



3月11日は3年生最後の晴れ舞台です、とびっきりの笑顔で卒業して行って下さい。次の12日は、公立高校最後の入試日です。一度失敗した人も、これが初めての人も新しい道に向かって思い残すことなく全力で取り組んで下さい。

【受検予定者】

複数志願選抜：	127名
単独志願選抜：	6名
多部制Ⅱ期：	2名



《今月のことば》

『 人生素晴らしきドラマ 』

君たち一人一人が、主演男優・主演女優として輝き、活躍できる場所です。

撮り直しができない、台本のない・筋書きのないドラマです。

その中の「1シーン」を一緒に過ごした共演者への感謝を忘れずに。

これからも、もっともっと周囲の人が羨むような、

素晴らしいドラマを完成させていって下さい。